



ロータリーは  
分かちあいの心



W. J. Wilkinson

ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
2007-08年度国際ロータリー会長

No. 11

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

- ① 利他の心を大切にしよう
- ② 素晴らしい仲間を増やしていこう
- ③ 家族会を開催し親睦を深めよう
- ④ 友愛奉仕活動を実践しよう

例会記録 (2007. 9. 21 (金)) 通算2,679回

#### ◆開 会

#### ◆唱 歌

ロータリーソング (我等の生業)

#### ◆本日のゲスト

高砂プロバスクラブ会長 柳澤成憲様  
 高砂プロバスクラブ 高木定三様  
 高砂プロバスクラブ 松本友和様

#### ◆プログラム予定

9月28日 (金)	10月5日 (金)	10月12日 (金)	10月19日 (金)
卓 話 「改正道路交通法」 播磨自動車教習所 講習課課長 松本秀明様	卓 話 「自己紹介」 埋田悦造会員	休 会 (定款第5条第1節(C)による)	卓 話 米山奨学生 シュケン 朱彦さん

## ◆出席報告

本日	9月21日	会員数46名	欠席者2名	出席率 95.65%
前々回	9月7日	会員数46名	欠席者0名	出席率100.00%〈修正〉

## ◆MAKE-UP

○伊地知正治会員	e C L U B	9月20日
○佐藤 純三会員	e C L U B	9月21日
○田中 泰生会員	e C L U B	9月14日

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

丸山 恵右会員……高砂プロバスクラブの皆様本日はようこそお越し下さいました。  
籠谷 啓一会長……プロバスクラブ柳澤会長、本日は忙しい中ありがとうございます。  
中野 哲郎幹事……高砂プロバスクラブ柳澤会長、皆様ようこそお越し下さいました。  
信原 智彦会員……9月17日の勸月能に際しましていろいろお世話になりました。  
山名 克典会員……プロバスクラブの会長副会長をおむかえして。  
早退 3名

## ◆幹事報告 (2,679回)

◎ガバナー事務所より、地区大会信任状が届いております。  
◎高砂観月能の会、伊藤会長より後援協賛の御礼状が届いております。

### ※例会変更のお知らせ

◎姫路中央R.C 10月18日(木) → 職場例会 於:(株)アール・ビー・エヌ

## ◆会長の時間

本日は高砂プロバスクラブ会長の柳澤成憲様にお越し頂き卓話をお願いしております。  
柳澤様本日は忙しい中有難う御座います。プロバスクラブについては3年前の中尾元会長の弁によりますと、ロータリークラブをスポンサークラブとする、非宗教的・非政治的・非営利的クラブです。そして会員の資格としましては、専門職業及び実業に従事していたか、あるいは従事している方で、ここが大事なんです、地域社会の発展に寄与できる方となっています。

高砂プロバスクラブは1999年12月16日に創立総会を開催し2000年1月より活動された、兵庫県下で11番目のプロバスクラブですが、昨年までは当クラブより補助もさせて頂いておったのですが、晴れて今年より独立独歩で立派に事業活動をされています。これからの日本は益々高齢者が元気と言うことで、今後の活躍を期待申し上げます。また、本日の卓話も楽しみにしておりますので、合わせて宜しくお願いいたします。

## ◆本日のプログラム

### 卓話 「高砂町景観今昔」

高砂プロバスクラブ 会長 柳澤成憲 様



#### 高砂のまち

高砂町は謡曲「高砂」のゆかりの地として知られていますが、現在は高砂駅の東南に製紙工場、播磨灘に面した地区には化学工場を初めとする工場群があり、工場の町という現代的イメージも強くあります。

しかし、高砂町の歴史は古く、現在工場の建ち並ぶ地区も、古くは「万葉集」に詠まれている白砂青松の美しい海岸線でした。白砂青松以外にも、帆布製造の始祖といわれる工楽松右衛門をはじめ、多くの歴史上の人物を生んだ地でもあり、また文学の中でも高砂の名前がたびたび登場します。

町は古くから漁村として成り立ち、江戸時代に加古川河口に港が築かれてからは、上方への物資の中継地として漁業と共に商業も盛んな町となりました。また、堀川が水運として開かれてからは、そこにも多くの高瀬舟が往来し、さらにまちは繁栄したと言われています。

当時、堀川沿いに荷をおさめる蔵が軒を連ねていたようですが、現在はその面影が僅かに残るだけです。

明治末期より始まった工業誘致により、産業の中心が漁業や商業から工業に移り、それに伴いまちの様子は大きく変化してきました。しかし、高砂には貴重な江戸時代からの民家や歴史ある寺院や神社が現在も残されており、かつての港町高砂の面影を偲ぶことができます。

#### 高砂地区の特徴

##### 1 堀川周辺地区

かつて水運で栄えた堀川周辺地区では近世の町割りが残り、多くの伝統的な様子の建築物を見ることができます。それら伝統的な建物は、壁面に漆喰、木材、屋根に和瓦（本瓦）など伝統的な建材が使われています。特に1階部分正面に多く使われている自然素材である木材は、おだやかな色調で落ち着いた趣のある景観を作り出しており、壁板も焼板や船底板などの特徴ある色彩が見られます。

##### 2 西畑地区

西畑地区は、操業を停止した紡績会社の跡地を住宅地として昭和55年に開発されました。また、工場の正門前はそのまま高砂公園として整備されており、その周辺は住宅街として落ち着いた雰囲気醸し出しています。

##### 3 駅前地区

大正12年、神戸、姫路を結ぶ神姫電鉄（現在の山陽電鉄）が開通し、駅前の商業立地が進みました。また、昭和50年には、製紙会社の住宅、グランド跡に大規模店舗が立地するなど、さまざまな景観要素の混在が見られます。

会長 籠谷 啓一                      幹事 中野 哲郎  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 井上 慶治  
例会場 高砂商工会議所2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)